

岩手県遠野市

担当課 遠野健康福祉の里福祉課
〒028-0541 遠野市松崎町白岩字葉研淵4-1
☎0198-62-5111 FAX 0198-62-1599

本市のデータ

- (1)面積 825.62km²
- (2)人口 30,057人 (以下平成23.6.30時点)
- (3)世帯数 10,754世帯
- (4)65歳以上人口 10,042人
- (5)高齢化率 33.4%
- (6)沿革
平成17年10月1日 宮守村と合併

本市の概要

岩手県内陸部・北上高地の中南部にあり、四方を山に囲まれている。東に釜石市と上閉伊郡大槌町、南は奥州市と気仙郡住田町、西は花巻市、北は宮古市に接している。

太平洋側気候であり、盆地に位置するため、冬期の放射冷却が起きやすく、-20度近くまで気温が下がることもあるが、降雪量は少ない。

柳田國男の「遠野物語」のもととなった町であり、河童や座敷童子などが登場する「遠野民話」で知られる。市街地の北側に常堅寺があり、その近くには、河童伝説で有名なカツパ淵がある。

冷涼な気候と豊かな自然環境を生かした農林業を基幹産業とし、米を中心に、野菜、ホップや葉たばこなどの工芸作物、畜産が複合経営されており、日本一の乗用馬生産地として知られている。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

遠野市の自殺者は、年間10人ほどである。死亡率は、平成17年38.2(人口10万対)、平成18年が42.0、平成19年が32.6となっており、岩手県の平均値(平成19年32.0)を上回り推移している。また、年齢別で見ると、65歳から69歳の方が最も多く、次いで55歳から59歳、50歳から54歳の順である(平成14年から18年年齢別自殺者の総数)。性別では、男性が多く、中高年の男性の自殺が顕著な状況である。対策については、幅広く市民に対し意識啓発を図るとともに、傾聴ボランティア活動を中心とし、こころのケアの機会づくりの充実が必要と、検討・実施している。

<具体的な取組み>

1 うつ病及び自殺予防のための意識啓発活動の展開

○21年度

- ①既成リーフレットの購入と配布
- ②「まんずしゃべってみてがんせ」啓発用ボールペン作成と配布
- ③市オリジナルリーフレットの作成と配布

○22年度

- ①自殺予防パンフレット配布
- ②傾聴ボランティア活動周知用リーフレット及びティッシュ作成・配布
- ③うつチェック用ティッシュの作成と配布

2 相談体制の確保

- 傾聴ボランティア養成講座 21年度1回、22年度2回実施。
- 傾聴ボランティア「ひなたぼっこ」設立 現在の会員20名
- 傾聴ボランティア育成 先進地視察交流・研修会
- 傾聴ボランティア活動の展開 サロン、傾聴訪問の実施
- こころのケア相談員の設置：公募中

3 うつ対策

- うつ病に関する情報提供 リーフレット、ティッシュの配布、ミニ講話の実施

4 こころの健康づくり推進事業

- 健康講話の実施